

ほんがいっぱい



よんでみよう!

5・6年生のための本

①『スイマー』

たかだ ゆきこ ちよ 結布 / 絵 ポプラ社 《Fタ》

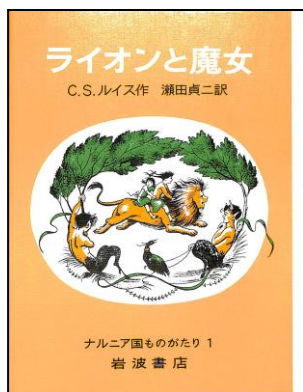
しょうがくせい こうは、りれいでしつぱくしてからすいえいをやめていた。しかし、とうきょうからさどてんこうと、かいとすいえい さそとうきょうと、うみにすいえいに誘われてしまう。とうきょうでは、まわりはみんなライバルだったけれど、みんなか勝つことをめざして、かいとりゅうのすけ しんじといっしょに、こうはりれいに出場することに。



②『ライオンと魔女』

C. S. ルイス / 作 瀬田 貞二 / 訳
ポーリン・ベインズ / 絵 岩波書店 《Fル》

いなかの古い屋敷にやってきた4人兄弟は、さっそく屋敷の中の探検を始めた。衣装ダンスの中に入ったルーシィが、洋服をおしのけ踏み込んでいくと、そこは、一面のゆきげしき…ナルニアの国だった。“ナルニア国ものがたり”シリーズ全7巻の1巻目。



ところざわ しりつところざわ と しょかん
所 沢市立 所 沢図書館 2021年

③『10分あったら…』

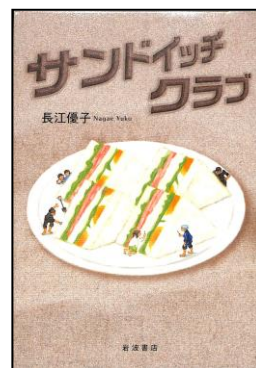
ジャン=クリストフ・ティクシエ / 作 ダニエル遠藤みのり / 訳
もりかわいずみ え ぶんけんしゅつぱん
森川 泉 / 絵 文研出版 《Fテ》

ちちおや しごと つごう いなか ひ こ
父親の仕事の都合で、田舎に引っ越したティム。不満でしょうがないのに、部屋の古い壁紙をはがしておくと頼まれる。留守番中、仕方なく壁紙をはがしていると、下からなぞのメッセージが現れた。もしかして、12本の金の延べ棒が手に入るかも!?



④『サンドイッチクラブ』

ながえゆうこ さく いわなみしよてん
長江優子 / 作 岩波書店 《Fナ》



ちゅうがくじゅけん じゅく かよ たまこ
中学受験のために塾に通う珠子は、いっこうにあがらない成績と将来について不安を抱えていた。そんなある日、同じ塾の成績優秀なヒカルに、「黄金のシャベルを奪還する手伝い」をして欲しいと頼まれる。それは、砂で彫刻を作るとても変わった勝負だった!

⑤『フレンドシップ ウォー こわれたボタンと友情のゆくえ』

アンドリュー・クレメンツ / 著 田中奈津子 / 訳 講談社 《Fク》

グレースはおじいちゃんから珍しいボタンをたくさんもらった。これをきっかけに、学校では気に入ったボタンを交換することに、みんなが夢中になっていった。ところが、きれいなうずまきボタンをめぐって、グレースは親友エリーとけんかになってしまい…。



⑥『ラグリマが聞こえる』

ささぐちともこ／著 くまおり純／絵 汐文社 《Fサ》

ミオンはある日、古い洋館に住みつけた「怪人」がギターで「ラグリマ」を演奏しているのを聞く。「ラグリマ」は、亡くなった父がよく弾いてくれた、お気に入りの曲だった。「怪人」は一体何者なんだろう？ミオンが、出かけていく「怪人」を尾行すると…。



⑦『朝顔のハガキ』



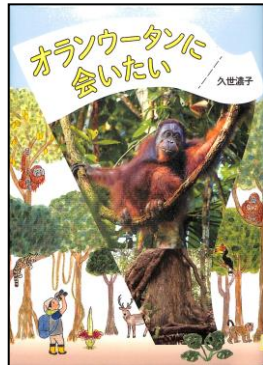
あさがお 山下みゆき／作 ゆの／絵 あさひがくせいしんぶんしゃ 《Fヤ》

毎年ばあちゃんに届く、朝顔が描かれたハガキ。誠矢は、「夏休みに、ぜひ遊びにきてください」と書かれたそのハガキが気になって仕方がない。六年生の夏休み、会いに行く決心をすると、ばあちゃんは恐ろしい目でにらみつけ、「絶対に許可しないよ！」と怒鳴った。

⑧『オランウータンに会いたい』

くぜのうこ ちよ あかね書房 《48》

オランウータンは尻尾のない体の大きなサル仲間です。争いを好まず、ひとり木の上で生活をし、7年に1度子どもを産んで母親だけで子育てをします。研究の難しいオランウータンの不思議な生態を、ボルネオ島に渡った久世さんといっしょに見てみましょう。



⑨『希望、きこえる?』

さかえだにあきこ ちよ ちようぶんしゃ 榮谷明子／著 汐文社 《69》

ユニセフの職員としてアフリカ大陸にあるルワンダにやってきた榮谷さん。おもちゃやテレビもない子どもたちのために、ルワンダ初の子ども向けラジオ番組を作ろうと決意します。仲間を集めてアイデアを出し合い…。ルワンダの人たちはいい番組だといってくれるかしら？



⑩『アリバの猫がきいている』

しんどうえつこ さく さたけみほ え ぽぷらしゃ 新藤悦子／作 佐竹美保／絵 ポプラ社 《Fシ》

猫のシャイフは、人間の言葉がわかる特別な猫。猫の言葉がわかる言語学者のアリババと仲良く暮らしていたが、〈ひらげごま〉というお店に預けられることに。その夜、シャイフはびっくりした。民芸品たちのおしゃべりが聞こえてきたのだ！

⑪『お蚕さんから糸と綿と』

おおにしのおお ちよ かん 大西暢夫／著 アリス館 《63》

日本では昔から、育てた蚕の繭から糸や真綿をつくっています。そして、糸や真綿から、服や靴になる布がつくられます。では、蚕からどうやって糸ができるのでしょうか？蚕の繭は、じつは1本のとても細い繊維からできているのです！

⑫『チョコレート工場の秘密』

ロアルド・ダール／作 田村隆一／訳 ジョセフ・シンデルマン／絵 評論社 《Fダ》

世界一おいしいワンカのチョコレート工場には、ひみつがいっぱい。ある時、金券を当てた5人の子どもが見学を許される。貧しいチャーリーも金券を当て、ジョーじいさんとでかけていく。さて、チョコレート工場の秘密とは？

⑬『かじ屋と妖精たち』

わきあきこ へんやく いわなみしよてん 脇明子／編訳 岩波書店 《M》

ある日、かじ屋が留守から帰ると息子の様子がすっかり変わっていた。まだ子どもだというのに、体も目つきも老人のよう…。困りはてたかじ屋のところに、物知りで名高い老人がたずねてきて「あれはあんたの息子ではない」というのだが…。